

# MRSメニューセンサス 時系列レポート 発刊

2020.11

## With コロナの時代到来

2020年は新型コロナウイルス感染症で始まり、騒動は収束しないまま、すでに新たな生活様式が定着しつつあります。

今回の時系列レポートには、コロナ以前の夏・秋(2019年)、コロナがまだ対岸の火事であった冬、コロナ流行期の春(2020年)の4季節のデータが含まれます。

これまでの40年間の傾向と比べてどう変化したのか？  
ぜひ本レポートでご確認ください。

『MRSメニューセンサス』は、1978年から続く“唯一の家庭の食卓メニュー調査”です。日本の食卓の長期トレンドを把握するために「家庭内で、いつ・誰が・何を食べたか／飲んだか」を日記形式で調査しています。

40年間続けてきたからわかる、日本の家庭の食卓トレンド。その分析結果の一部をご紹介します。

次ページではレポートの内容を少しだけご紹介します👉

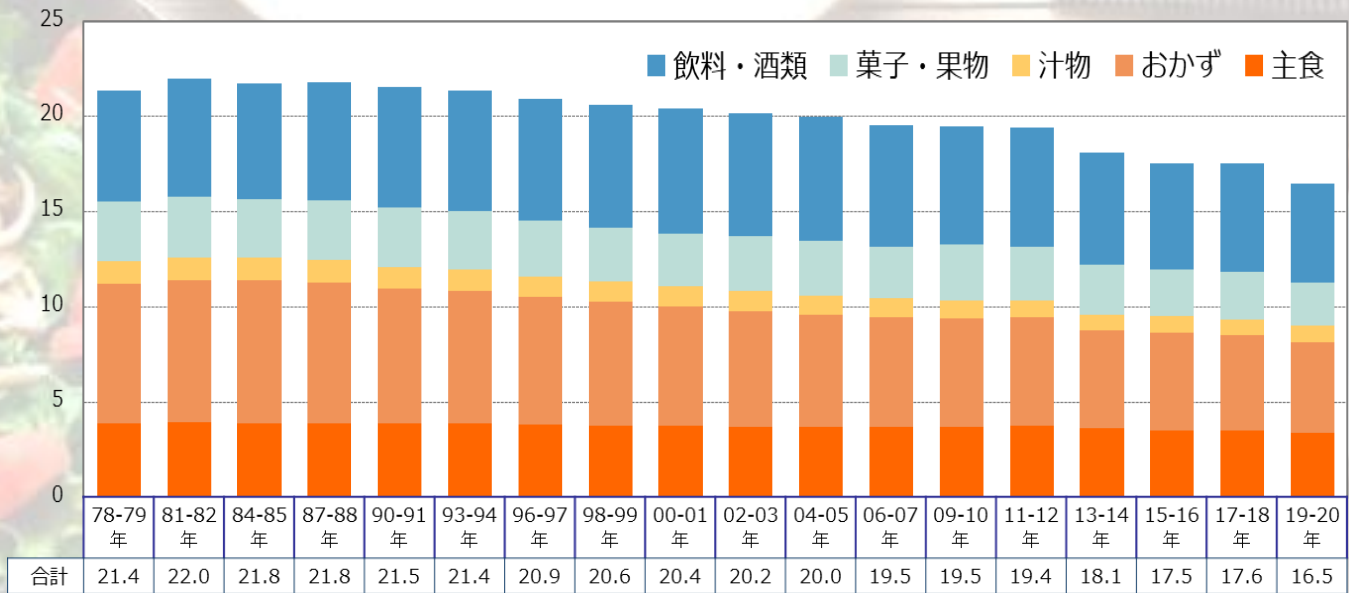
# 40年間で1日のメニュー総数は約5品減少

分類ごとにみると、いずれの分類も減少傾向にあるが、「おかず」は78-79年に比べて2.6品減となり、下げ止まりの気配がみえない。

時間帯別にみても、78-79年と比較すると19-20年では「昼食(弁当除く)」「夕食」「間食」でほぼ1品ずつ減少

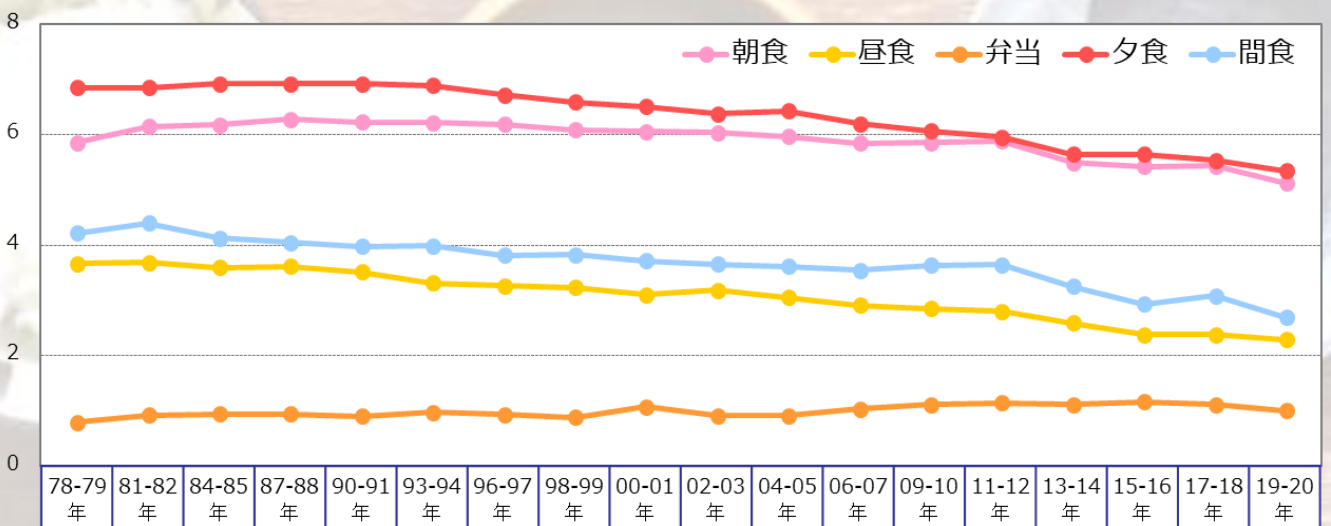
## 1世帯1日平均

(品)



## 時間帯別(1世帯1日平均)

(1世帯1日平均品数)

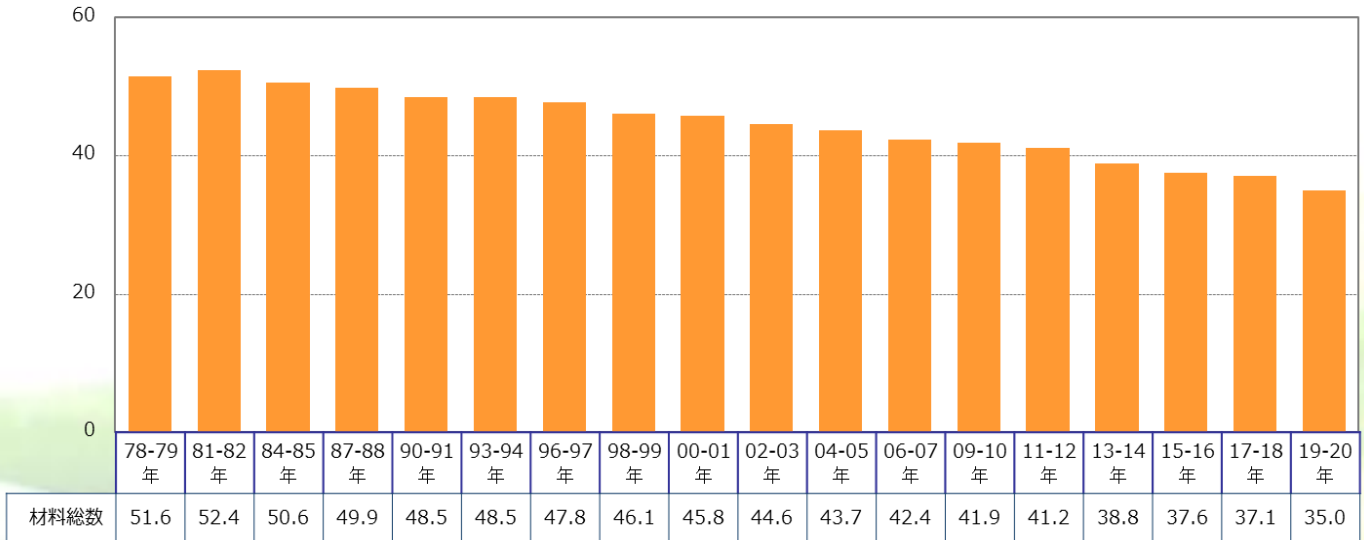


# 材料の総使用回数は40年前の約7割まで減少

主婦の年代別にみると、材料の総使用回数は60代が最多。50代以下は長期的に減少、特に若い世代ほど減少が著しい。調査開始当初から、20代と60代との材料の総使用回数の差は徐々に広がっている。

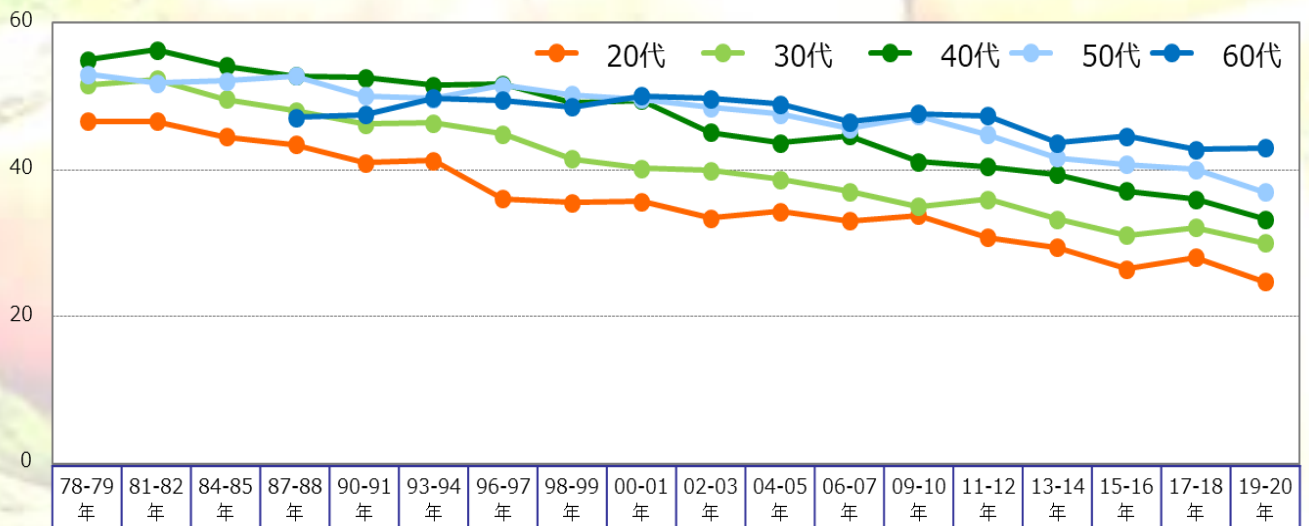
## ■ 1世帯1日平均

(回)



## ■ 主婦年代別(1世帯1日平均)

(回)



...この続きは本レポートにてご確認ください！

## 【2019-2020年調査(新Vol.6)の調査設計】

調査地域：首都圏30km圏

調査対象：夫婦二人以上の世帯の20～79歳の主婦、4季節で1,000世帯

調査方法：郵送調査(初期／中間／最終チェックは電話で実施)

調査内容：①日記帳 家庭内で調理・喫食したすべての飲食物のメニュー・材料・調理方法  
②付帯調査 対象主婦の基本属性や料理への意識・考え方

調査期間：各世帯の記入は2週間連続

← 2019年						2020年 →			
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
夏			秋			冬		春	

### 【レポート項目】

I. 調査概要

II. サマリー

III. 2019-2020年の結果(4季節計)

1. 今期の背景状況

- (1) 社会的なできごと
- (2) 家計調査 ①衣食住
- (3) 家計調査 ②食料費

2. 実食率

3. メニュートレンド

- (1) メニュー総数
- (2) 主食メニューの出現回数
- (3) おかずメニューの出現回数
- (4) 汁物メニューの出現回数
- (5) 菓子・果物の出現回数
- (6) 飲料メニューの出現回数
- (7) 健康食品の出現回数

4. 材料トレンド

- (1) 材料の総使用回数
- (2) 穀類・麺類の使用回数
- (3) 肉類の使用回数
- (4) 魚介類の使用回数
- (5) 野菜類の使用回数
- (6) 乳卵類の使用回数
- (7) 冷凍食品の使用回数
- (8) 缶詰食品の使用回数
- (9) レトルト食品の使用回数
- (10) 即席スープの使用回数
- (11) 出来合調理品の使用回数
- (12) 調味料の使用回数

【価格】 定価100,000円(税別)

【印刷物】 A4横／42p

【データ】 Microsoft PowerPointまたはAdobe PDFで納品

### 【問い合わせ先】

調査部メニューセンサスグループ

TEL : 03-5981-5663

お問い合わせURL : <https://www.mrs.co.jp/contact/>

株式会社 マーケティング・リサーチ・サービス

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-45-8 ニッセイ大塚駅前ビル5F

<https://www.mrs.co.jp>



株式会社 マーケティング・リサーチ・サービス